

和の光

宝塚市立西谷中学校



「自分の一歩」

宮澤 章二

いま わたしの踏みしめる一歩は
だれか他の人の一歩ではない
わたしの足が地上に刻む一歩は
いつでも わたし自身の一歩なのだ

他の人より一歩先を歩くからといって
他のひとより優れているとは限らない
他の人より一歩後を歩くからといって
他の人より劣っているとは限らない

自分の目標を定めて歩き出したのだから
自分の一歩をしっかりと信じて進もう
——その決意が 最後まで歩く力を生む

出発点には<人生>など まだない
到達点にこそ わが<人生>はあるのだ
歩きつづけ生きぬいた尊い証明として

3年生の皆さんは間もなく9年間の義務教育を終えて、それぞれの進路先に進んでいくことになります。私は、生徒朝礼や学校通信で「**目標を見つけることの大切さ**」・「**日々の努力の大切さ**」について話してきました。卒業まであとわずかですが、それぞれの進路先でもこの2点については忘れないで欲しいと思っています。

さて、この学校通信「和の光」も今年度発行できる回数は残り僅かとなりましたが、3年生のみなさん、そして1年後・2年後に卒業する1・2年生のみなさんにも宮澤さんの詩「自分の一歩」を送りたいと思います。

■44名の仲間と築いた思い出～ふれ合い運動会～



園児と中学生によるダンス



園児と中学生による大玉ころがし



白熱するリレーの様子



笑顔で踊り切りました

西谷の伝統であるふれ合い運動会を写真で振り返ってみました。園児と仲良く踊ったり、園児・児童と一緒に走ったり、中学生の優しさがたくさん見受けられました。

また、中学生のダンスでは全学年で協力して笑顔一杯に躍動感の溢れる踊りを披露しました。

ふれ合い運動会が西谷のよき伝統としていつまでも続いて欲しいと願っています。